



ジオパークの夏

(丹後町砂方)

表紙写真は、峰山町の岡田良博さんにご提供いただきました。

6月議会

◆補正予算	2
◆特別会計、決議	3
◆条例、意見書	4～5
◆米軍Xバンドレーダー	6～7
◆陳情、賛否一覧	8
◆市政を問う	9～18
◆市民と議会の懇談会	19
◆市民の声、あながき	20

9月議会予定

8月30日	本会議(招 集 日)
9月11日	本会議(一般質問)
9月12日	本会議(一般質問)
9月13日	本会議(一般質問)
9月30日	本会議(最 終 日)

平成25年度一般会計補正予算

6億円の大型補正

6月定例会

平成25年度一般会計補正予算は森林の間伐、間伐材等の流通・加工促進、移住促進・空き家改修支援事業、市民のスポーツへの理解と関心を喚起するための情報誌の発行、児童の登校上の安全性を高めるための歩行型除雪機の配備などに必要な予算として、総額約6億円が計上された。

補正予算の主な事業

◎木質バイオマス利用促進事業 1億7800万円

森林整備を促進するために必要な木材の流通・加工施設の整備への支援を行う。

◎指定管理施設大規模改修事業 1億3500万円

市内産木材の積極的な利用を図り、市域の森林整備を促進する目的で「静の里」温泉に木質チップボイラーを導入する。

◎移住促進・空き家改修支援事業 1200万円

人口減少と空き家の増加が進む中、移住者受け入れのための組織づくりや、空き家改修等の支援を行う。

◎学校安全対策事業 940万円

冬期積雪時の登校における児童の安全性を高めるため、除雪機が未配備の小学校に歩行型除雪機19台を配備する。

◎スポーツのまちづくり情報発信事業 270万円

スポーツを活用したまちづくりを目的に、情報誌「京たんごスポーツ」を発刊する。

平成25年6月定例会は、6月7日から7月2日までの26日間を会期とした。
審査として、平成25年度一般会計補正予算(第1号)などの議案39件(内、議員提出3件)、陳情・請願5件、国への意見書1件、一般会計補正予算の執行に対する執行機関への決議を可決、同意した。

補正予算の主な質疑

木質バイオマス利用促進事業

問 指定管理者制度の見直しとの整合性は。

答 関係部局との調整を行い、必要に応じて見直しも含め検討する。

問 維持管理における試算では人件費を計上していないが。

答 事業収支を検証したもので、人件費は工場労働費として入っている。

移住促進・空き家改修支援事業

問 移住者の受入組織づくりとあるが、具体的な説明を。

答 「移住促進計画」を立てる必要があるが、区、連合区などの自治会や、地域に根差した団体等による移住者の受入組織づくり、空き家改修の支援を行う。

学校安全対策事業

問 除雪機を配備とあるが、中学校はどうか。

答 学校再配置の関係で、まず小学校に配備し、中学校にも順次、計画していく。



期待される木質バイオマス

スポーツのまちづくり情報発信事業

問 情報誌「京たんごスポーツ」の趣旨と、配布方法は。

答 できる限り多くのスポーツを取り上げ、活躍の状況や、功績者の人物紹介など、幅広い情報を提供していく。

市民局を通して、全戸配布する。

賛成討論

●木質バイオマス利用促進事業は、再生可能エネルギーということで大いに期待したい。
森林整備促進、木材流通・チップ加工施設の整備、市内の温泉3施設での木質チップボイラー導入は、「公共事業」として推進することを評価する。

●事業会社に財政的な不安があり、運営しながら調整していく必要がある。有害鳥獣対策としても期待でき、新しい雇用、新しい産業としても期待したい。

反対討論

●森林整備を進めることについては賛成だが、事業全体の審査がまだ十分とはいえない。具体的な展望とビジョンに欠ける。

●今、指定管理者制度の見直しを進めている時に、木質チップボイラー導入の計画は整合性があるのか、疑問だ。

市民太陽光発電所事業を推進

特別会計を
設置!

～環境循環型社会の構築に向けて～

総事業費(特別会計) 3億8300万円

(借入3億8110万円、一般会計から190万円)

事業の目的

- 自然エネルギー活用による地域活性化
- 災害に強いまちづくり
- 温室効果ガスの排出抑制
(年間420 t のCO₂に相当)



(網野の予定地)

【設 備 概 要】

場 所 丹後織物工業組合所有の遊休地(大宮町河辺、網野町網野)

発電出力 932kW、発電量:93万6000kWh/年 ※一般家庭260世帯分の年間電力使用量に相当

買取価格 37.8円(20年間固定価格買取制度による)

決 議

2ページに記載の一般会計補正予算の執行にあたり、決議が提出されました。

決議の内容は、調査が終了するまで、次の2点について慎重な事業の執行を求めたものです。

- ①木質バイオマス利用促進事業におけるチップ工場のチップ原木受け入れ見込み量及び供給可能量や経営計画等。
- ②指定管理施設大規模改修事業における公共施設の見直し計画との整合性及び木質チップボイラーの効果や指定管理料への影響等。

主な質疑

問 網野町の候補地は海岸から近いが、塩害の心配はないのか。

答 海から500mの地域を塩害地域としているが、特に塩害対策や、積雪対策、反射防止は仕様書の中で求めている。

他市の例は、塩田跡地や臨海地域でも行われており、同様の対策をしていく。

問 市がなぜ直接太陽光発電事業を行うのか。

答 再生エネルギー導入

・普及のための環境を作っていくことが市の役割だ。将来的に、民間需要に結びつけていくために、まず市が取り組み、日本海側でも可能だということを実証することが重要と考える。

特別会計の審査については、引き続き産業建設常任委員会で審査を行い、7月19日の臨時会において、全員賛成で可決しました。

第2次京丹後市観光振興計画

第1次計画の実績や環境の変化を踏まえ、 観光立市の実現に向けた新たな計画

問 市民と観光との連携はどうか。

答 故郷を守り育てる事が必要であり、市民が町に誇りを持って案内できるように意識を高めていく。

問 将来の目標数値は妥当なのか。

答 入り込み客の減少傾向に歯止めをかけ、情報発信の強化、滞在型観光の推進に取り組み、春・秋の観光を推進し、ジョパーク、教育合宿、スポーツ観光、農家民泊などの将来を担う宿づくりを重点的に行う事により、入込客数200万人、宿泊者数45万人を目指す。



春・秋の観光推進を

問 観光推進体制のブラットホームづくりとは。

答 10月1日を目処に網野駅舎に観光協会の本部を移し、ワンストップ窓口として観光情報センターに機能を集め、さまざまな観光案内を行う。

また、観光協会は一般社団法人の設立に向けて動いていく予定だ。ブラットホームは観光協会が主体となって動いていく。

(全員賛成で可決)

条例改正

京丹後市立学校条例の一部改正

平成26年4月1日から宇川中学校と間人中学校を再配置し、「丹後中学校」とする。

質疑

問 校名が変わるが、準備協議会で、どのように進め、地域へ知らせたのか。

答 校名の選定基準として「丹後町の歴史・文化を考慮し、親しみやすい名称であること」を踏まえ、準備協議会で公募等の資料も参考にして決定した。回覧板等で地域の皆さんにはお知らせした。

(賛成20・反対1で可決)



平成26年4月から丹後中学校に

京丹後市社会体育施設 条例の一部改正

大宮第三小学校のグラウンドを、木質バイオマス利用促進事業に係る施設として利用することに伴い、社会体育施設より除外する。

質疑

問 森林整備の将来的展開はどうなっているのか。

答 温泉3施設のチップ利用で、約48分の森林整備が進むと予定している。木質チップの利用施設が増えることにより、チップの生産量が増える。これにより、森林整備の対象面積がさらに増えていくと考えられる。利用が進めば、木材の搬出が増え、森林整備が進む。

(賛成17・反対4で可決)

京丹後市一般職の職員の給与に関する条例の特例に関する条例

(適用期間 平成25年7月から平成26年3月)

東日本大震災に対処するために、国家公務員の給与削減支給措置に準じ、地方公務員の給与を一般職0・8%、管理職手当4%減額するもの。

質疑

問 地方交付税は本来、地方自治のための地方固有の財源であり、国の施策目的を果たすために、地方交付税を削減することについてどのように考えているのか。

答 交付税の削減については、遺憾である。また、今回の交付税減額について、国に直接抗議をした。職員給与の削減にあわせて、市長をはじめ、副市長、教育長の給与についても減額し痛みを共にしたい。

交付税の増減については、(賛成17・反対4で可決) 給与分として強制的に削減された。

しかし、国の方針で決定された事であり、それを市民への負担に転嫁することはできない。したがって、職員に負担をかけることになった。

今回の地方交付税削減に関して、市議会において下記の意見書を提出した。

交付税の一方的な削減に関する意見書

平成25年度の地方公務員給与は、東日本大震災に対処するための国家公務員の給与削減支給措置に準じ、地方財政計画での地方公務員給与の削減、それに連動した地方交付税の削減により、国家公務員に準じた地方公務員給与の削減要請がなされたものである。

そもそも地方公務員の給与は、地方公務員法に基づき、公平・中立な知見を踏まえつつ、地方において条例により決定すべきものであり、国から給与削減を強制することは地方自治の根幹に関わる問題である。ましてや、地方交付税は、地方自治の本旨の実現に資するとともに、地方団体の独立性を強化することを目的とする地方固有の財源であり、国の政策目的を果たすための手段として地方交付税を削減することは、地方自治の本旨からして極めて不適切であり遺憾である。また、今回の措置は、財政力の高い普通交付税の不交付団体には影響がない、極めて不公平な措置であると言わざるを得ない。

よって、今回の措置が東日本大震災を受けた例外的・時限的な措置であることを確認するとともに、地方の自主性を尊重し、地方交付税を一方的に削減した今回のような措置を二度と行わないよう強く求めるものである。



意見書提出先

内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
内閣官房長官
衆議院議長
参議院議長

【意見書の趣旨】
国の政策目的を果たすための手段として地方交付税を削減することは、地方自治の本旨からして極めて不適切であり遺憾であるとして、議員の全員賛成で意見書を採択し、提出したものです。

米軍TPY-2レーダー（Xバンド・レーダー）

～基地対策調査特別委員会 中間報告より～

詳細については、<http://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai/xband>

視察の概要

平成25年2月、米軍「Xバンド・レーダー」の追加配備計画の候補地に、空自経ヶ岬分屯基地（丹後町袖志）があがった。3月には地元説明会及び議会へ理解を求める説明会が開かれた。米軍配備の実態やレーダーの安全性について多くの市民から不安の声があり、議会と



TPY-2 レーダーのアンテナユニット

して基地対策調査特別委員会を設置して、調査した。

国内で唯一、レーダーが配備されているつがる市の米軍車力通信所とレーダーを視察。基地の全容及び米軍の実態、地元住民への影響など実情を調査。つがる市役所及び議会と地域住民に対して、有力候補地との報道を受けてから、受け入れ表明までの防衛省（当時は防衛庁）との対応、受け入れ後の安心安全に係る取り組み及び地域振興に与える影響などを調査した。

車力通信所の視察

米軍車力通信所の第一ゲートでは、身分証明証の提出を求められ入場者プレートと交換。車両で入場する場合は、第二ゲートに行くまでの間で車両と積載物が点検される。第二ゲートより内側には赤外線センサーが設置され、第三ゲートを含む一番内側のフェンスには運動感知センサーが設置されている。

基地の面積は5万㎡（約一万五千坪）。管理棟は、基地司令官、レーダーのメーカーと運用会社の責任者、民間の警備員が使用し、職員棟は、米軍と技術者の事務室として、



米軍車力通信所の全景

車力通信所の米軍関係者の地域での活動(平成24年度)

6月 3日	富範小学校運動会
7月 8日	車力分屯基地 32 周年記念事業
7月14日	マグアビーチ清掃活動
7月27日	つがる市ネブタまつり
8月 5日	第 23 回チェスボローカップ出場
8月26日	つがる市馬市まつり
11月18日	幸樹園児童ボウリング大会
11月25日	車力地区バスケットボール大会
12月19日	車力分屯基地餅つき大会 老人福祉施設慰問
12月23日	幸樹園クリスマスパーティ
2月 7日	冬道運転講習・スリップ体験
その他	1 学期こども英会話教室 2 学期こども英会話教室

レーダー支援トレーニングでは、技術者が電話、インターネットなどで、ハワイの司令部や米本国と通信業務を行っている。地元との関係については、年間を通じて各省庁の視察の受け入れや、関係自治体及び関係官庁との定期的な意見交換を行っている。また、地域で様々な活動や各種イベントへ参加するなど、積極的に地元住民との交流も行っていた。



隊員による介護施設への慰問

視察先での主な質疑

米軍への質疑

委員 景観を壊さないか懸念する。風景に溶け込む色に変更は可能か。

米軍 色のルールがあれば教えてほしいし、この話は上司に伝える。

委員 予定地は民家に近いが、設備は同じか。

米軍 配備予定の発電機は、車力通信所と異なるが、騒音は同等レベル。京丹後では防音壁で囲われる予定だ。

委員 基地と居住施設の距離に規定があるか。

米軍 車力分屯基地の傍にあり、車力通信所から約4kmに位置する。特に規定はないが通信所に近い方が望ましい。

住民との懇談会

委員 軍属が居住することへの不安はなかったか。

住民 設置以前から、ホームステイの受け入れを行っていた。軍人、軍属が居住することに不安は

なかった。

委員 基地設置への反対運動はなかったか。

住民 レーダー照射の心配は、特にない。風評被害の心配があり、当初は反対同盟をつくった。

説明会などにより、地域住民が反対同盟から住民を守る会に変え徹底的な話し合いをおこなった。その実態はマスコミに理解されず、その後も風評被害などの報道がされた。**委員** 地域の中で言葉の壁をどのように克服しているか。

住民 つがる市内の中学校にALTを配置している。また、米軍人により小中学生を対象に英会話教室が開催されている。特に言葉の壁はない。

委員 住民の安心安全を確保するために協定のようなものを結んでいるか。

住民 当初は、防衛局から1週間に1回来ていた。だが、青森県の防災、県警、地区の警察で安全を見守るための連絡会を設置した。特別な協定はしてい

ない。

制限区域について

レーダーは、前方に信号を発受信するタイプで、後方に制限区域を設ける必要はない。制限区域は国際的基準により設定され、人員がレーダーの電磁波から保護するための立入禁止区域、機材と航空機を保護するための区域からなり、一定の出力であるため、制限区域が変わることも無い。経ヶ

岬では、海拔約30m、崖の端から約30mの位置にレーダーを設置予定で、レーダーの放出範囲よりも十分に下方に位置している海岸線と海面には、影響がないので立入制限区域を設けないとの米司令官の説明があった。また、防衛省の説明では、ドクターヘリの運用にも制限区域による影響はないと思われるが、停波を含め柔軟に対応するとしている。

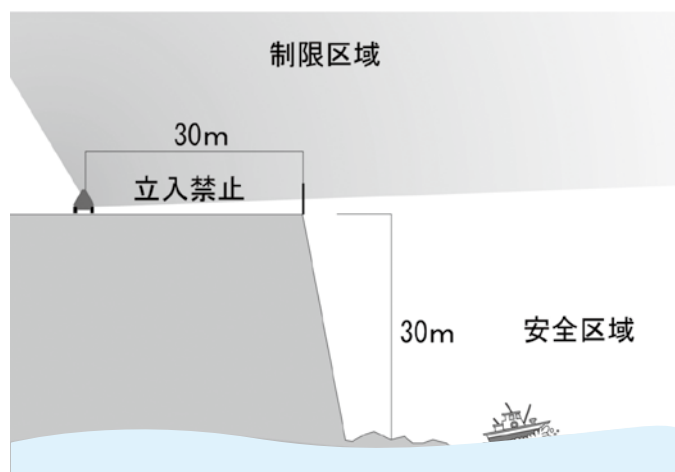
駐留軍等再編特措法

今回のレーダー追加配備に関して、駐留米軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法が適用される。内容について、防衛省から説明を受け質疑を行った。

追加配備に関しては、賛否両論がある。青森県つがる市への視察、空自経ヶ岬分屯基地への視察を含め、様々な面から、市民の安全・安心を第一に調査研究するなど、積極的な役割が求められている。引き続き、調査・研究する必要があると考える。

今後について

レーダー運用のイメージ



※立入禁止区域の設定は、日米で調整予定。

日時	これまでの主な議会の動き
3月13日	議員全員協議会
4月11日 ～4月12日	青森県つがる市 現地視察 (4月11日)つがる市役所 (4月12日)米軍車力通信所 つがる市地域住民との懇談会
5月9日	第5回委員会 ●視察報告書について ●駐留米軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法について
5月14日	第6回委員会 航空自衛隊経ヶ岬分屯基地 現地視察 ●議員全員協議会における質問事項 ●今後の日程について
5月20日	議員全員協議会
6月7日	議員全員協議会
6月19日	第7回委員会 委員会の中間報告について

請 願・陳 情

●TPP参加に反対する請願書

〔陳情者〕新日本婦人の会京丹後支部長 三野 みつる

【賛成少数で不採択】

●久美浜町河梨区大カン谷開発に係るミニポートピア実現と行政協定の実行を求める陳情

〔陳情者〕大カン谷開発委員長 田中 信、河梨区長 藪下 雅彦 【賛成多数で採択】

●再配置にともなう新設中学校の名称に関する陳情

〔陳情者〕新設中学校の名称を考える有志の会 柏原 保

【賛成多数で一部採択】

●TPPへの参加に反対する陳情

〔陳情者〕京丹後市農民組合 松村 統克

【賛成少数で不採択】

●ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために「治安維持法犠牲者国家賠償法」(仮称)の制定を求める陳情

〔陳情者〕治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟京丹後支部 芝井 清生 【賛成少数で不採択】

議案に対する議員の賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。そのほかについては全員賛成で可決されました。

会派名	議 案 の 可 否	清風クラブ									丹政会				日本共産党				雄飛会		無会派	
議員名 案 件		金田	谷口	中村	芳賀	藤田	堀	松本	由利	吉岡	池田	谷津	三崎	和田	田中	橋本	平林	森	川村	吉岡	足達	松本
		琮仁	雅昭	雅	裕治	太	一郎	経一	敏雄	和信	恵一	伸幸	政直	正幸	邦生	まり子	智江美	勝	博茂	豊和	昌久	聖司
京丹後市一般職の職員の給与に関する条例の特例に関する条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
京丹後市立学校条例の一部改正について	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京丹後市社会体育施設条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○
平成25年度京丹後市一般会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	
TPP参加に反対する請願書	不可	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	
ふたたび戦争と暗黒政治をゆるさないために「治安維持法犠牲者国家賠償法」(仮称)の制定を求める陳情	不可	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	
久美浜町河梨区大カン谷開発に係るミニポートピア実現と行政協定の実行を求める陳情	可	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○
再配置にともなう新設中学校の名称に関する陳情	一部採択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
TPPへの参加に反対する陳情	不可	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	

※○:賛成 ×:反対 欠:欠席 岡田修議員は議長職のため表決権はありません。

6月定例会一般質問

市政を問う

～議会を傍聴しましょう!～

京丹後市議会

検索

<http://www.city.kyotango.lg.jp/shigikai>



一般質問を19日、20日、21日の日程で行い、18人の議員が質問し、市長や教育委員長に答弁を求めました。

掲載は質問順、内容は本人から提出された要約原稿です。また、ケーブルテレビ11チャンネルでの放送や京丹後市ホームページの「京丹後市議会コーナー」で配信していますのでご覧ください。

丹政会 三崎政直

消防団再編計画はその後
どうなっているのか

市長 平成28年4月スタート
をを目指す

問 平成23年12月議会の一般質問で、消防団再編について「団としての統一性、一体性を考えながら効率的で活動しやすい組織を目指して取り組んでいる。進め方としては、外部委託ではなく消防団や消防本部などと協議しながら自前で行う」と説明されたが、今年度予算で消防団再編検討委託料が計上された。その理由は。

市長 旧町の地域事情も異なり、基準作りに行き詰まった。地域住民の理解を得るのがもっとも重要であり、今回、専門機関の知見を得ながら、しっかりと説明できる案を作るべく予算化した。

問 今後のスケジュールは。

市長 今年度中に再編計画案を作成し、来年度に区長協議会など地域へ説明に入り、理解を得た上で遅くとも平成28年4月からスタートさせたい。

問 機能別消防団員制度について

も「団の再編と併せて考えたい」との答弁であったと思うが。

市長 昼間の消防団員不足などの問題もあり、支援団員的な考えで消防団再編に併せて位置づけを検討していくが、必要な地域においては先行することもあり得る。

また、一部地域から必要性の声が上がっていると聞いている。

市の認可地縁団体への姿勢は

問 市は認可地縁団体を進めたいとの姿勢であったが、進んでいない。改めて姿勢を問う。

市長 少し説明が不足していた。申請はあくまで区等の自主判断であり勧奨するものではない。今後、集会施設の地元区への移譲もあるので制度の説明を行っていく。課税については、認可地縁団体か否かに関わらず同一の取り扱いだ。



消防団再編計画の進捗は

丹政会 谷津伸幸

レーダー配備で将来のあるまちづくりを

市長 市民の安心安全の確保を第一に取り組む

問 市民の安心安全の確保に、どのような対策を考えているのか。**市長** 府の専門家による参与会議の回答で、健康に対する不安は一定解消した。治安に対しては、現地での相談窓口の設置や巡回を防衛省が行う。国の責任として駐在所や道路など、必要なものは地元と相談して要望する。**問** 国防について、市長はどのように考えているのか。**市長** 北朝鮮の脅威に国際安保の環境が変化している。このレーダーは国の防衛システム強化に寄与。施設は専ら守備の施設で抑止力に直結する。米軍施設は、日米安保の中で多くの地域が平和の負担をしている。市民の安心安全を第一に考え、真剣に取り組みたい。**問** 地域の負担軽減とリスクへの備えに対する国の支援を、将来のあるまちづくりに生かせないのか。**市長** 市民の安心安全は絶えず前

で諸事業は半歩後ろ。諸事業が前に出るような構図は本末転倒で、安全安心の取り組みの中で考える。地元の要望を聞きながら、計画的に取り組む。

ダンピング防止で

市民の安心安全確保

問 スクールバス等の入札の現状と予定価格はどうなっているのか。**教育委員長** 落札率の最低は45%、高いものは97%、平均は73%。基準がないため参考見積りで積算。**問** 役務サービスにも、最低制限価格の導入が必要ではないのか。**市長** 状況を見るときで必要なら、真剣に検討したい。**問** 公共調達基本条例、公契約条例についての検討はしないのか。**市長** 市では研究段階。今後、内容や経済状況、契約も含め検討。

国防の要となるレーダー設置予定地

丹政会 和田正幸

果樹農家をバックアップできないか

市長 京たんご梨の生産販売の支援を考えている

問 異常気象でひょう、あられの被害が出ている。市としての農産物の販売対策は。**市長** 全国の販売対策事例を参考にしながら、農家や関係機関の皆様と協力し、京都ブランド戦略と両立できるように進めていく。また、市の農産物流通戦略会議の中で、宿泊所でのデザートや加工品の提供などを検討して提案し、販売を進めていく。

若者の交流の場を

問 本市の人口減少を考える場合、深刻な問題は少子化だ。若者が定住できるまちづくりのために、未婚問題の解消など様々な取り組みがされているが、本市の状況は。**市長** 市が取り組むと予算の関係で一過性に終わるものがあるが、創意工夫を持った団体が活動されている。側面から支えて民間と役割を分担して取り組んでいく方が、イベ

ントを一過性で終わることなく持続できるのではないかと考えている。雇用や福祉はもちろん、若者の出会いの場を検討し、民間のバックアップを市がした方がふさわしいと住民の方と話し合っている。

浄化槽設置事業及び補助について

問 浄化槽区域の水洗化の状況について、市設置の浄化槽の場合、設置するスペースが無くて設置できない場合の対策は。**市長** 具体的な要望があれば市も京都府と協議をする。設置場所が他人の土地なら、土地所有者の無償同意が必要。新たな設置工法により汚水ポンプのくみ上げ設置が可能な場所も増える。年度途中で申し込みしても随時対応して要望に応えたい。

ひょう被害が心配される梨

丹政会 池田恵一

Xバンド・レーダーは
受け入れるのか

市長

受け入れる方向で見
据えていきたい

問 宇川地区の水問題が解決しない限り、Xバンド・レーダーの設置に反対すべきと思うが。

市長 尾和用水については、地元負担なしで事業を継続したい。袖志地区については、現在経ヶ岬分屯地で使用している70tの内、50tを米軍施設に使用し、残り20tは農業用水に使用する。分屯地の70tは宇川の簡易水道で対応したい。また、米軍関係者の160人の水についても、現在の施設を改修すれば対応可能と思っている。

問 この問題はいたずらに時間をかける問題ではないと思う。いつ決断するのか。

市長 まだ進行形であるが、受け入れる方向で条件を付けて見据えていきたい。地元にもまだ不安があるが、いたずらに延ばすべきではない。判断する入り口に来ていると思うが、まだできる状況ではないと思う。

なぜ補助金の見直しをするのか

問 昨年9月「補助金の見直し方針」が制定された。なぜ今補助金の見直しなのか。

市長 補助金の効果が不十分、概得権との指摘がある。将来的な補助金の削減に繋げていきたい。

問 久美浜一区のまち並み環境整備事業で多くの事業費が使われている。効果検証はされているのか。

市長 稲葉本家を中心として観光に利用されている。

問 稲葉本家をもっと活用し、地域の活性化になれば京丹後市の観光にも繋がり、指定管理料は必要ないと思うが、今後の方針は。

市長 指定管理料は減っている。中長期的な展望を検討しながら、地域の活性化に向け検討したい。



市民の安心・安全を第一に

日本共産党 田中邦生

危険な米軍基地は断念を

市長

まとめる時期に来て
いる

問 攻撃されるリスクや健康への影響、軍属の犯罪など治安への不安が高まった。しかし、防衛省は「検討する、米国に要望する、防衛機密」との繰り返しだ。

日本に向けて弾道ミサイルが発射されたら、瞬時に経路や着弾点を判断して打ち落とすことは不可能で、日本の防衛に役立たない。攻撃される脅威にさらされると思うが。

市長 軍事施設であっても、日本の防衛システムが整い抑止力が高まる。外交も大切だが、軍事力も必要だ。

問 電磁波の低周波での発がん性の可能性や、高周波の健康被害については、世界保健機関が認定している。レーダーの出力こそ問題だ。

米国ではアセスの結果、コウモリなどの生息や遺跡への影響があれば運用しない。環境アセスや電磁波値の測定が必要ではないのか。

市長 4カ月かけて、健康や環境へ

の影響について検証してきた。今の過程がアセスそのものだ。

問 つがる市長や市議会は、米軍に対して「綱紀粛正」を求めている。車力でも沖縄でも様々な治安対策を行っているが、事件・事故は後を絶たないが。

市長 治安の確保は、関係機関あがって誠心誠意やっていく。

問 地元から反対の声、漁業関係者からも反対の意見書が出た。米軍基地はいらない、と平海岸に500人が反対の声をあげた。

不安が高まり、安心・安全の検証が峠を越えたとはとても言えない。市長は、市民の声に応え、危険な米軍基地は断念すべきだ。

市長 安心・安全の確保が第一である。検証の峠を越えつつあり、知事とともに考え方をまとめる時期に来ている。



米軍基地配備候補地・空自経ヶ岬分屯基地

日本共産党

平林 智江美

国保の一元化は一層の負担増となる

市長 不均一保険税が必要

問 国民健康保険制度は、現在は市が運営主体となり、保険税の決定や徴収をおこなっている。国保法の改正により、市から府への一元化にむけた作業が行われている。府内でも医療費が少ない京丹後市は、保険税も低い。一元化により府内同一保険税となり、市では9669円の値上げと聞いている。一元化は市民への負担増となるが。

市長 医療費の少ない自治体まで同じ保険税でなく、不均一課税を認めるべきだ。後期高齢者保険制度のような期限を決めての激変緩和ではだめだ。国に対して補助金増の要望もしている。平成30年度実施にむけて府と協議している。

問 保険税の滞納者との納税相談などが不十分なまま、生活資金まで差し押さえされ困っている。命にもかかわることになり、見守りが必要であるが。

市長 見守る体制の検証を行い、

しっかりと取り組んでいく。

学校・保育所跡地利用は

問 学校や保育所が地域から消えていき、校区などが広くなり市民のつながりやコミュニケーションが希薄になり、まちづくりにも影響があるが。

教育委員長 学校の行事への参加率が非常に高くなっている。人間関係の広がりが出ている。

問 跡地の管理・利用について、方針はあるのか。保育所のプールや遊具の管理が不十分だと思うが。

教育委員長 地元の意見を聞くのが大前提であり、協議会や区長会などにも意見を聞いている。庁内の検討委員会も開き、時期がくれば公募も考える。保育所は子ども未来課が管理している。プール等の点検も引き続きしっかり行う。



廃園になった園庭の安全確保を

日本共産党

橋本 まり子

小中学校へ、早期にエアコン設置を

教育委員長 5年以内をめどに市内小中学校に設置する

問 市内小中学校の教育設備の充実についての考えは。

教育委員長 緊急措置として久美浜中ランチルームへは、空き保育所、小学校のエアコンを再利用して6月中に設置。市内小中学校普通教室には5年以内に全校にエアコン設置を予定している。

問 再配置後、中学校の練習試合等の集合場所は、保護者の送迎負担を軽減するため、数力所設置できないのか。

教育委員長 複数箇所に設置を予定している。

問 通学路の安全点検、対策は。

教育委員長 弥栄小、高龍小の通学路は3月までに対応したい。実態を確認しながら、不都合が生じた場合は変更の対応を迅速に対応していく。

問 コウノトリもすめる環境づくりを
コウノトリもすめるさとづく

り、ヒトと自然の共生に関して市の目指す方向は。

市長 今後も農家や地域の方と共に「コウノトリもすめるさとづく」「生物多様性を育む農業」を拡大推進していく。教育委員会と農政課が連携し「共生課」など課を横断した組織も研究していく。府、兵庫県、豊岡市など他の自治体とも連携し、本市の体制のあり方も考えていく。

風疹予防接種助成の拡大強化を

問 補助の強化、周知徹底は。

市長 配偶者以外の家族などへの補助対象の拡大、さかのぼっての支給は予定していない。周知については、おしらせ版、防災無線、市のHPで。QRコード読み取りによるメール配信も今後検討する。



コウちゃん和5羽のひな 〈久美浜永留巢塔〉

日本共産党 森 勝

消費増税は凍結すべきと考えるが

市長 景気後退、税収減もありえる。慎重にすべき

問 アベノミクスをどう見るのか。市の経済、営業と生活への影響は。特に業者への影響について。

市長 一部でプラス面もあるが、業者、市民は実感として厳しく、結果としてマイナス面の方が大きいとしている。特に業者は円安による資材高騰で厳しい状態だ。

問 アベノミクスは投機とバブルを招き株式市場はカジノ化した。大企業と外人投資家のみが儲けている。業者、国民を犠牲にしている。経済再生、暮らしの対策は。

市長 振興条例でバックアップをしていく施策をやってきたい。

問 アベノミクス効果は地方では期待できない。さらに消費増税の追い討ちは、京丹後市を「焼け野原」にする。市長は12月議会の答弁で消費増税は反対だと言っていたが現在も変わらないのか。

市長 変わっていない。過去にも税率アップで景気が悪化し税収が

減った。慎重に判断すべきだ。

問 首相の成長戦略の真の狙いは「企業が世界で一番活動しやすい国づくり」にあるとしているが、本来経済政策は「国民が暮らしやすい国づくり」であるべきだ。真逆の政策と考えるが。

市長 同感だ。そのためにはもっと成長を上げることが大事。国策として足りないものがあり、財政健全化の対応も必要だ。

米軍基地の受け入れは拙速だ

問 防衛省は市民の声に聴いていない。この段階での市長の判断は拙速すぎ、説明責任を果たすべきだ。

市長 防衛省へ報告を求めるのは当然だ。市民の安心の条件が満たされない限り、撤退を要請することもあり得る。



米軍基地ができないのが一番の安心・安全！

雄 飛 会 川村 博 茂

胃癌検診はX線検査より血液のABC検査で

市長 国の動向を注視する

問 胃癌検診の受診率が低いのは、検査が苦痛に感じるからだ。受診率を上げるために、検査費用も安い血液検査によるABC検査に切り替えている自治体が増えている。ABC検査による早期胃癌の発見率は、X線検査の2倍も高いと言われているので、京丹後市もABC検査に切り替えたらどうか。

市長 ABC検査実施の市町村に聞くと、①新規受診者が増加した。②ハイリスク者を絞り込める。③必要な方の治療につながるなど良い回答があった。反面、ABC検査は5年に1回の対象となるため、市の検診も受けずに放置してしまうなど課題もあるとのこと。胃癌検診のあり方を厚労省が検討しているのので国の動向を注視する。

不育症患者へ経済的支援を

問 不育症は治療から出産までに一〇〇万円余りかかるので、治療に

結びつかないケースがある。不妊治療より治療の確率が高いので、治療費を助成する自治体が増えている。改めて助成制度を求めたい。

市長 最近、治療薬が一部保険適用となり、負担が軽減されてきているし、相談窓口の設置など不育症対策は前進している。実施の可能性については研究したい。

問 市の優先政策は、少子化対策と雇用の確保を始めたとする経済対策と考えるが市長はどう思うのか。

市長 雇用や経済対策、子育て支援策も同様に重要だと思っている。

問 そうなら助成する決断をしたかどうか。府内で初めてということ、市長の評価も上がると思うがどうか。

市長 全国では60の自治体が助成し、重要性は改めて認識したので、可能性について検討していく。



待望の赤ちゃん誕生！

清風クラブ 由利 敏雄

教育委員会の指導体制強化すべきと考えるが

市長 教育振興計画を推進していく中で検討

問 教育改革や教育課題の解決を図るために、指導主事を本庁に一本化して、指導体制の強化と機能化を図るべきであると考えるが。

教育委員長 再配置が進む中で、指導主事の体制も考えていく。

市長 教育のまちづくりに向けて、今年度から教育振興計画を検討していく。その計画を推進していくことが、教育委員会事務局の仕事であり、いろんな角度から議論して体制を確立していく。

問 教育委員会改革の動きがあるが、教育委員の今後のあり方について、市長の見解は。

市長 国の教育委員会の改革に向けての動きについては、子どもたちを取り囲む環境の安定・信頼が平時は必要である。教育委員会のチェック機能、抑止力を持たせる権限も必要だと思う。

子どもたちのための教育と支援を

問 学力向上に向けての支援は。教育委員長 学力については、国

や府のテスト結果から見ると、優れている点や課題もあるが、指導主事訪問などで各校に指導している。特に本年度は、保・幼・小・中における発達の連続性を考慮し、つきたい力を提示して一貫した保育・教育を推進している。

問 不登校や不登校傾向の子どもに対する支援は。

教育委員長 不登校については、本年度も大きな課題としてとらえている。分析結果に基づいて、各校への指導、臨床心理士による教員への指導などを行っている。昨年度開設した教育支援センターでは、相談件数も増加し、社会性や協調性の習得や学習の補充など行っている。また、臨床心理士も月2回派遣して対応している。



開設された教育支援センター

清風クラブ 堀 一郎

丹後王国建国1300年観光への取り組みは

市長 地域に眠る宝を百年先のまちづくりに生かす

問 建国1300年の記念講演や展示、記念ツアーが企画されているが、地元の観光業者にはどのように周知しているのか。

市長 少しスケジュールが遅れているが、7月から8月にかけて、色々な計画が動き出す。観光業の皆さんとよく連携して事前に情報を共有し、しっかりと進める。

問 観光振興計画の中で食の魅力の向上とあるが、丹後とり貝、ウニ、丹後あまだい、活イカなど安定供給に向けてはどう動くのか。

市長 健康長寿食に取り組んでいる。これが食の観光の大きな要素になるので、活用してもらいたい。また、京都府にはより多くのトリガイの種苗の確保をお願いしている。

問 京都府の「海の京都構想」では、交通網の確保が重要であると考えられているが、京丹後市まで直通の列車がない。また、観光周遊バスなどの計画はあるのか。京都から京丹後市まで

の直行バス、レンタカーなどの提携計画はあるのか。

市長 アクセスは重要である。KTR・JRとも相談していく。周遊道路も国・府とよく相談し、検討していく。

土曜授業の復活を

問 独自の教育として土曜授業の復活と英会話、コンピューター教育に力を入れるべきでは。

教育委員長 英語は年間140時間。これ以上になると他の教科を減らす事になり、増やせない。情報教育も取り組んでいる。他の教科の兼ね合いもあり、早急な時間増は難しい。

市長 教育は重要な課題であるので、教育委員会・教育長とよく相談して進めていきたい。



学校週6日制が検討されている

清風クラブ 金田 琮仁

「地域の元気臨時交付金」の積極的な活用を

市長 市道の補修工事、必要なら補正で対応する

問 地区要望の多い、市道の維持補修工事にも「元気交付金」が使える。これまではこのような交付金は無かったように思う。従来の事業もある中で技術職員は忙しいとは思いますが、いろいろと工夫をしてもっと積極的に、老朽化する市道の維持補修工事に取り組むべきだ。

市長 最大限努力した中で、3億円超の「元気交付金」が見込まれている。維持補修工事には6月補正と合わせ4千4百万円の予算だが、必要なら9月補正で追加し、対応していきたい。

情報誌「京たんごスポーツ」の具体的な内容は

問 スポーツ新聞「京たんごスポーツ」を発行するところがあるが、市民も大いに関心があると思う。その発行回数と特徴的な内容は。

市長 まちづくりにはスポーツは大切だ。「する、見る、知る」、知る事は

スポーツをする上で大きな動機となる。広く親しまれているスポーツに加え、本市出身者や市職員の中にも、余り知られてはいないが、例えば、短距離の桐生選手の先輩で全国準優勝した人や、カヌーのオリンピック候補選手、また男子体操の国体選手等々、話題となる方は多くいる。このような人たちの紹介をしていけば市民の関心と話題が広がる。

市民生活を活かす、環境の整備を
問 峰山庁舎のトイレを、一部でも洋式にすべきだと思うが。

市長 利用される市民へも配慮し、次年度で計画を進める。

問 にしがき弥栄店前の市道には横断歩道がなく、危険だ。

市長 京都府公安委員会が現地を調査し、その可否を決定される。



横断歩道の設置が求められる市道溝谷中央線

清風クラブ 谷口 雅昭

市長 農業農村施策での道標となる

問 近年の農業を巡る情勢は大きな転換期と言える。市の農業振興に取り組み上で、このビジョンは、各種農業の振興計画の中でどのような位置付けなのか。また、TPP交渉参加の動きや6次産業化、農商連携など、計画策定時から変化しているが、今後のビジョンについて変更や見直しはあるのか。

市長 総合的な農業農村の振興施策の将来像を示したもので、総合計画に次ぐ重要な計画と位置付けている。今後、農業農村振興ビジョン検討委員会を設置し、数値等中間見直しを考えている。

自主防災組織について

問 消防団員が減少する状況の中で、集中豪雨や火災等の災害に対応する地域の自主防災組織は重要だ。災害現場での事故やけが等の療養補償はどのように対応するのか。

市長 市で「消防団員等公務災害補償等共済基金」に加入している。消防団員、自主防災組織の方や、市民の災害現場での活動協力での事故やけが等は、公務災害の対象で、国の基準に基づき、療養補償などの補償制度が受けられる。

仮称「遊泳者等を水難事故等から守る条例制定」について

問 海水浴シーズンを迎え、遊泳だけでなく、水上バイク等で楽しむ遊びに変わってきている。京都府での条例制定の動向は。

市長 府に対策規制の要望をしている。府では、学識者や船舶、観光漁協等の関係者や行政からの意見を聞き、来年の4月施行を目指している。遊ぶ水域、そうではない水域に区分した条例制定を京都府に働きかける。



大切に育てられる果実

清風クラブ

芳賀 裕治

フィルム・コミッションをどう生かす

市長 観光立市の実現を目指す

問 映像化は観光振興、地域の活性化などに有効な手段と考える。多くの美しい風景があるが、どこを提示していくのか。

市長 海岸や沿線の里山を中心に市民による公募を行いたい。

問 映像会社への誘致をどう進めるか。商工会、観光協会との連携をどう図るのか。第2次観光振興計画との関連はどうなるのか。

市長 「水戸黄門」「暴れん坊将軍」等口ケの実績がある。各機関と連携してアピールしていく。基本方針で重要な戦略と捉えており、地域経済の活性化を図る。ジャパン・フィルムコミッションに所属して活動していく。

高齢化世帯をどう守る

問 今後も増加してくる高齢者世帯の日常支援、買い物弱者支援、移動手段支援の現状は。

市長 安心見守り事業として、配食

サービス、緊急通報装置、友愛訪問活動を実施している。社協のサロン活動、民生委員の見守り、生協との連携等で配達サービス、福祉運送事業として、医療機関への送迎も実施している。

問 学生など地域に入ってくるボランティアの受け入れは。

市長 京都府のふるさと共存事業を受け、今まで多くの大学と連携している。域学連携地域活力創出事業を提案しており、夢のあるまちづくりを進めたい。

絶えない猿被害をどうするのか

問 今後の対策計画を尋ねる。

市長 防護柵を拡大していく。猟友会による捕獲で、個体数の減少に努める。地域を挙げて追い払いを徹底していく。



フィルム・コミッションの候補地に

清風クラブ

松本 経一

発達支援ファイルは十分活用されているか

教育委員長 まだ徹底ができていない

問 発達障がいのある児童生徒への支援を充実させるため、「発達支援ファイル」の取り組みが昨年10月からスタートした。学校現場での活用状況はどうか。また、発達障がいのあるすべての児童生徒に支援の手が届くようにするため、市としてはどのように取り組むのか。

教育委員長 昨年から取り組み始めたが、まだ徹底できていない。

市長 ファイルの有効性を理解してもらうため、学校などに働きかける。また保護者にも使いやすいものにするため、研究を重ねる。

障がい者事業所製品販売の支援は

問 障がい者事業所製品の常設販売店舗を、市内の大型ショッピングセンターにつくることになった。市側からの提案で進めた事業でありながら、店舗開設のために、福祉法人が多額の寄付金を集める必要が生じている。市の支援のあり方が問

われているが。

市長 寄付も含め、市民ぐるみで支え、将来的には自立してもらえる店を目指して欲しい。障がいのある方の、潜在的な能力が出せる場になると確信している。今後もしっかり支援していく覚悟だ。

サルによる被害は深刻だ

問 丹後町では人身被害まで出ている。京都府に保護計画の見直しを要請し、群れの一部を捕獲する「個体数調整」に乗り出せ。さらに、専属の追い払い隊を作り、追い払いの他に、電気柵や畑の野菜くずの管理など、あらゆる対策を専属でやってもらう体制をつくるべきだ。

市長 サルの被害は深刻だ。先進的な自治体の事例を学び、経費はかかっても被害対策に乗り出す。



期待される障がい者施設製品の販売促進

清風クラブ 吉岡 和信

米軍レーダー受け入れ
地域の理解は

市長 行政として判断した

問 市長はXバンド・レーダーを受け入れる方向で検討するとの答弁をしたが、宇川住民に理解されたとの認識によるものか。

市長 水問題など様々な課題があるが、行政として見極める中での判断である。

問 女性から治安に対する不安の声が上がっているが。

市長 女性だけの説明会も行った。交番の設置やパトロールの強化、協議会の設置などを求めている。車力では米軍住宅は街なかにあり、視察に女性が参加していれば理解されたのではないかと思う。

問 参議院選挙では、憲法改正が争点に挙がっているが、所見は。

市長 法律の安定性から憲法96条の改正については懐疑的である。

丹後町のデマンドバス 市民局を活用

問 丹後町豊栄地域に予定されていたデマンドバス運行が進まない

理由は。

市長 利用見込みや運営形態について地域と協議している。主体的に取り組む団体等があれば市民局を事務所等に利用する事も含め検討していく。

問 10月から200円バスが、宮津市など2市2町に拡大されるが、その効果は。

市長 利便性を図るため距離の延伸や路線の変更などを行う。最長になる北部医療センター（与謝の海病院）から、宇川温泉までが一区間になる。観光面でも同じ料金系統になりメリットがある。

問 本市の将来展望が見えない。ナカヤマミクスを示せ。

市長 新経済戦略や全国級の支援措置も含めて農商工観を連携し、伝統産業も大切にしながらグリーン産業を創っていく。



自衛隊が新たに使用する予定の尾和地区

無会派 松本 聖司

ゴミの排出量が合併時
から減っていないが

市長 反省し、しっかり取り組み

問 マニフェストでは、循環型社会の構築を成長戦略の柱の一つに据えている。「ゴミゼロ」ミッションも掲げているが、平成16年度の市民一人一日当たりのゴミ排出量は1253グラムで、平成23年度は1221グラムである。全国平均は現在975グラムで、111グラムの減少である。また、ゴミ収集・処理に係る費用が、平成23年度は8億7300万円で、市民一人当たり1万4000円台で推移している。財政上からも加速的減量の推進が必要であると思うが。

市長 昨年の選挙の公約でもあり具体的な取り組みを進めている。生ゴミの資源化を推進するシステムが7月に立ち上がる予定だ。また各家庭の紙ゴミの分別も検討している。3点目に小型廃家電の減量化に向けた取り組みを進める。

公共施設の見直し計画は妥当か

問 集会施設の地元自治会への移譲は理解できるが、上位の「見直し

指針」での①公共施設間の機能重複②市全域から見て適正な配置の2つの視点で、計画との不一致を感じる。また、峰山町の集会6施設は、年度途中で指定管理契約が終了する。いまだ自治会に説明がされていないのは問題である。

市長 今後、検討していくべき事項である。また、地元説明会はガイドラインができた第1行い、秋をめどに地区協議を終えたい。

図書館関係予算が不足していないか

問 貸出密度日本一の加東市を視察してきた。生涯学習の充実を掲げるのであれば、予算・ハード面とも不十分と考えるが。

市長 先進地と比べるとまだまだ課題は多く検討は必要である。



好奇心の泉 あみの図書館

無会派 足達昌久

丹後ちりめん絹のさと
再発見で活性化を市長 地域に根ざした形の
魅力あるアイデアだ

問 日本が誇る民族衣装である「きもの」は伝統や格式、生活美としての様式を備え、その文化性は世界から称賛の的である。その中で、この地におけるちりめん産業基盤の弱体化は、伝統を誇る丹後ちりめんの存在感を希薄にする。いま、丹後建国1300年を契機に丹後ちりめんの価値を再認識し、甦えらせるために、そのすばらしさを国内外へ発信することにより、まちの活性化につなげる努力が必要ではないか。そのためには、この市でしかできない心に残るようなイベントを考えてみてはどうか。例えば、「丹後ちりめん大きもの博」(仮称)のようなもの。内容は、市民の皆さんが着用した家庭に眠る思い出、祖母や母からの授かり物など思い入れのある着物に市民各々のメッセージを添えた形で、大々的に展示披露する。着物は公募で収集。展示会場は、学校統合で



地域の活性化に廃校をぜひ、生かしたい！

廃校になった校舎や体育館を活用。開催は、春又は秋頃の1カ月間程度。運営主体は、実行委員会を立ち上げ、市・関係機関・関係団体・区自治会・NPO、市民有志など全市的参加型とする。当然他のイベントとの併催や着地型観光との連携も視野に入れ、まさに地域を生かし、まちを照らすような大イベントになり得ると思うが。

市長 丹後ちりめんをベースにして、京丹後らしい地域に根ざした形の魅力的なアイデアだと思う。今年は、丹後建国1300年という節目で、いろいろなイベントを銘打っているが、7年後の2020年には丹後ちりめん発祥から300年になる。いい材料をいたただいたので検討してみたい。

次回の市民と議会の懇談会

テーマ 議会の情報発信・議会に望むこと

開催日	開催時間	開催場所 ※数字は出席班
8月19日(月)	午後7時30分～午後9時	峰山会場 赤坂公民館(3班)
		大宮会場 善王寺公民館(1班)
		網野会場 アミティ丹後(2班)
8月20日(火)	午後7時30分～午後9時	丹後会場 徳光区民会館(3班)
		弥栄会場 吉沢公民館(1班)
		久美浜会場 久美浜福祉センター(2班)

班	議 員
1班	田中邦生・吉岡豊和・岡田 修・池田恵一・橋本まり子・堀一郎・松本経一・松本聖司
2班	中村 雅・藤田 太・川村博茂・足達昌久・芳賀裕治・森 勝・和田正幸
3班	谷口雅昭・由利敏雄・三崎政直・金田琮仁・谷津伸幸・平林智江美・吉岡和信

お詫びと
訂正

前号第36号24ページ「市民の声」寄稿者の平井貞夫様のお名前が正しくは平井貞雄様でしたので、お詫びして訂正します。

(平成25年5月16日・17日開催分)

市民と議会の懇談会

まとめとご意見・ご提言とその回答

主な内容

- ・ 3月定例会の概要報告
- ・ 市政に対する提言、議会活動などについて意見交換

懇談テーマ

「地域協働型小規模公共事業
敬老会・下水道加入促進支援策」

懇談会における参加者の意見などで、市に対するものは市に伝え、その回答をここに掲載させていただきます。

詳しくは、各市民局に閲覧資料として備え付けるとともに、議会ホームページの「市民と議会の懇談会」で公開しておりますのでご覧ください。

市長部局の回答

問 大宮のように学校再配置や保育所の新築が進んでいる地域、峰山や久美浜のように何年も仮設のところ、また、峰山では再配置計画が白紙に戻ったと聞く。仮設保育所で

合同保育していても、小学校でばらばらになるのであれば、何のための保小中連携なのか。旧町の格差や、峰山の実態をどのように把握しているのか。

答 平成26年度中を目途に、峰山、久美浜町域で統合保育所を新設する取り組みを進めています。峰山町域1小学校に再配置とした計画が五箇小を除く現在の5小学校とする計画に修正となった議会のご判断を深く受けとめています。これらの状況を踏まえ、現在の学校配置に見合った施設分離型の小中一貫教育を推進するため、峰山中学校区では昨年度から調査研究と実践を重ね、今後検証を加えながら平成26年度からの導入を目指しています。

問 地域協働型小規模公共事業について、市道舗装の要望をしているが、なかなかできない。小規模公共事業の30万円では、できないのではないのか。河川は対象にならないのか。

か。予算配分は6市民局一律か。市民局長判断か、公平性は。

答 この事業は、非常に多くの地区要望がある中で、市民局の裁量で実施できるような「小規模で簡易な公共事業（市道舗装、市道側溝、交通安全施設及び市管理防犯灯などの補修や修繕など）」に絞って地域との協働で実施することにより、少しでも早く、かつ、多くの地区要望に応えようとする取り組みです。



峰山の懇談会場

問 天谷川において、台風23号時の土砂災害で川に大石が埋まっており、今後豪雨等で川が氾濫する可能性があり、近くに民家もある。その後区長を通じ、大石の撤去を市へ要望してほしい。

ているが解決に至っていない。速やかに処置願いたい。

答 平成23年の被災当時、土砂と一緒に崩れた木の根元の撤去を試みましたが、崩土、石の影響等があり、すべてを撤去するまでには至っておりません。再度、工法等を検討しており、早急な対応を図りたいと考えています。

問 市は健康長寿のまちと言いつながら敬老会の補助金が減額された。楽しみにしておられる方もあり、やり方は地域で考えるので、補助金は継続して頂きたい。

答 敬老会事業は大切な事業であると認識しており、平成18年度から単価は変えておりません。今後必ず助成は行うこととしており、その助成金の単価のあり方等を検討したいと思っています。ただ、市の財政状況から補助金の見直しも必要なことへの理解をお願いします。

問 6町が合併して、行政コストはどれだけ削減できたのか、合併効果を教えてください。



久美浜の懇談会場

答 最も削減効果が大いなのは議員や職員等の人件費です。主に定数削減により、平成15年度に比べて年額で約22億円、8年間の累計では約130億円の削減を行っています。

一方、施設や事業の見直しなど、さらに行財政改革を進めるべきことも多くあります。

市民の 声

伝えたい 丹後の魅力



弥栄町堤

由良 朋子

日々の生活の中でのほんの少しでも様々なことに興味を持ち得た知識と、経験が話の充実度を左右することは多い。ある方に丹後について色々尋ねられた時も、調べる時間も方法もない状況で、自分の興味による記憶と経験で乗り切れたことがある。

その中で他のことにもそれなりに答えられそうだと判断されたのかどうかはわからないが、丹後にはどういった神社があるかといった話から、「ばら寿司」とは何か



間人皇后と立岩

まで、質問は多岐に及んだ。乏しい知識でも一応全ての質問に答えることが出来たのは、実際に「行ったことがある」、「食べたことがある」という経験が助けてくれたからだ。神社の雰囲気、ばら寿司の味などは、ただ存在を知っているというだけでは詳しく伝えることは出来な

いからだ。しかしあくまで自分の中の曖昧な記憶と半端な知識である。自信のなさから説明の度に「確か」「多分」という言葉を多用していたように「君は適当だなあ」と笑われた。ただそれが功を奏したのか、お勧めした神社は実際訪れ、「本当にいい所だった」と喜んでもらったし、ばら寿司も試食してくださった。神社についてはいくつか良いと思ったところを紹介し、気になった

あとがき

安倍政権の経済政策である「アベノミクス」効果により、大企業がある都市部では景気の上昇が伺えます。しかしながら人口の減少が進む地方では、食料品の値上がりや電気代のさらなる値上げなど、今のところは、マイナス効果しか感じられません。

事業の廃止や店舗の閉鎖も見受けられ、雇用の確保も難しくなっていく中、行政が必要な支援を行い、地元中小企業の振興を図っていくために、商工業総合振興条例が6月議会にて提案されました。条例施行によって活気に満ちた希望の持てる地域経済と、若者が残れるまちづくりができるよう期待したいと思います。

今号から広報編集委員が入れ替わり、半数が初めて作業に入る委員となります。試行錯誤を繰り返しながら、分かりやすく読みやすい紙面作りに努めていきたいと考えていますので、表紙写真のご投稿やご意見もよろしくお願い致します。



委員	堀	委員	堀	委員	堀
敏雄	一郎	太	博茂	正幸	仲幸
藤田	川村	橋本	谷津		
副委員長	委員長	委員	委員	委員	委員
金田	田	和	橋	谷	谷
琮仁	正幸	正幸	正幸	正幸	正幸